



第325号
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

それぞれの 恩返し

背負うもの、解放の余韻

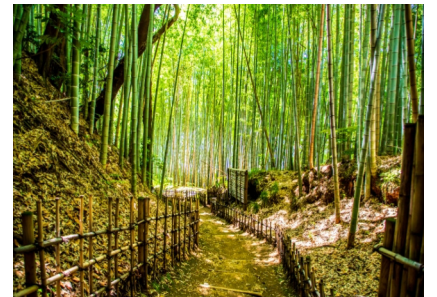
先日数年ぶりにばったり会った知人。たった数年といえど数年ですが、お互いの状況が変わるには十分な月日。

毎日朝早くから日付けが変わるほど遅くまで仕事をしていた彼は、そんな中でもほとんど愚痴をこぼすこともなく「子どもが巣立つまではね」と体が鞭を打つように必死で働いていました。

「4月で娘が大学を卒業したんだ」
末っ子が「巣立った」

ことを話してくれた彼の表情からは、ほんの少しの寂しさとホッとしたような穏やさを感じられませんでした。

仕事の日に家族団欒の時間を取ることはほとんどできなかったけれど、それでも家族に不自由な思いをさせないように、歯を食いしばって担ってきた数十年の役割がやっとひと段落した瞬間の思いはきつと単純なものではない感慨深いものなのでしょう。



私の両親もやはり同じように子どもたちに苦勞を表に見せることはなかったけれど、舞台裏ではこんな風に様々な思いを重ねて「巣立ち」まで見届けてくれたのだと思うと、感謝という言葉だけでは表現しきれない思いがこみ上げてきます。

「子どもが大人になる」ことは社会の中ではごく普通のこと。それでも一人の子どもを一人立ちさせた

知人が娘さんの高校の文化祭に行ってきたという。娘さんは高校1年生でもちろん初めての参加になるけれど、そもそも文化祭自体が3年ぶりの開催だそうです。部活で定例の発表会を開くのも経験者がいないため準備が大変だったらしい。ここ数年の制限はいろいろなところに影響しているのだ

「再開へ」
いと知人が笑顔で話してくれて、心が軽くなった。あちこちで「久しぶりの開催」と書かれたイベント

トの案内を目にする。そこに至るまでは小さきままな苦勞や試行錯誤や喜びがあったことだろう。長い歴史を持つお祭りなどは、きつとこうした出来事をいくつも乗り越えて伝統を繋いできたのだろう。そんな人の逞しさを思

びたいと思う。

も乗り越えて伝統を繋いできたのだろう。そんな人の逞しさを思

びたいと思う。

風に揺られて誰かに届け 風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。送る方には簡単な手紙を貼り宛に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書きだしてください。事務信同の始末は、宛封下まで流すので、局用封筒は不要です。



お知らせ

★次回発送日

7月2回目の発送日は24日の予定です。送りたいお手紙がある場合には3日前

★感想・体験談

皆さんのお声をウェブ上で掲載させていただきます。方法は事務局宛てのメモや便せんで構いません。頂いたメッセージは個人情報保護を伏せて

紹介させていただきます。なお、現在ご家族様に3か月無料でお試しいただけます。